

### Ⅲ 神代の杜

#### 第1 総括

##### 1 地域密着型施設としての取組と安定した施設運営

神代の杜は、調布市内で唯一の地域密着型特養として独自の取り組みと本体施設である調布八雲苑と密接な連携を行い、安定した施設運営が求められている。

地域密着型特養としての地域貢献の取り組みとしては、北ノ台まちづくりネットワーク（地区協議会）運営委員としての参画、関係団体への地域開放スペースの貸し出し、近隣の老人クラブ等と共同での余暇活動の実施などである。このことにより、神代の杜の認知度に比例するように近隣住民からの介護職員の紹介とボランティア数の増加に繋がった。

経営面においては、前年度の収支差額率が、マイナス2.5%で資金収支は、113万円の赤字であった。

今年度の特養の上期の利用率が98.7%で下期が92.2%となった。年間では、95.4%となり、目標値よりも1.6ポイント低かった。その要因として、上期の退去者が1人で入院も54日と少なかったが、下期の退去者は5人で入院が153日となったことと、退去から入居までに日数を要したことで利用率が低下した。ショートステイの利用率は、67.5%となり、前年度よりも6.8ポイント低下した。

このことから、今年度の収支差額率は、マイナス3.6%で資金収支は、185万円の赤字となった。

また、介護職員の欠員が続いている状況ではあるが、季節の慣習に配慮した行事や月毎の余暇活動は、入居者の意見を反映して実施したことで、満足度の高い活動となった。

なお、骨折等の重大事故と感染症の発生がなかったことは、職員の安全管理に対する意識の向上によるものである。

介護職員の欠員における業務面でのフォローは、看護職員と事務職員が直接介護以外の雑務や事務作業を手伝うことで介護職員の業務負担を軽減した。

## 第2 経営実績

### 1 目標値に対する実績

目標値に対する実績は、次のとおりである。

(単位：%)

事業名	目標値	平成28年度実績	平成27年度実績
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 利用率	97.0	95.4	94.8
短期入所生活介護 (ショートステイ) 利用率	90.0	67.5	74.3

### 2 人件費率

(単位：%)

区分	平成28年度実績	平成27年度実績
神代の杜	68.7	67.0

※ 事業活動計算書から算出

## 第3 事業報告

### 1 重点事項への取組

#### (1) ユニットケアにおける自立支援と個別ケアの充実

神代の杜入居前は、老人保健施設や有料ホーム等の施設で生活している方が多く、自宅から入居する方は少ない。このような状況であっても、できる限り入居前の生活を継続し入居後に混乱することがないように配慮した。

また、近隣図書館の図書司書が入居者に手渡しで書籍を届けてもらい、入居後も社会資源を活用している。他には、社会福祉協議会主催の地域行事に参加し交流を深めた。

#### (2) 健全な施設経営への取組

安定した収入を確保するためには、退去から新規入居までを短期間とすることが重要である。

今年度の入退去者は6人となった。その入退去に伴う空床日数は、平均で32日間であった。空床期間が長期となった理由として、入居待機者の代理人(家族)に入居の意向を確認し面接と契約を行い、健康診断を受けてもらう段階で入居見合わせの申し出をされた代理人(家族)が5人いた。このことから、長期の空床期間によって利用率が目標以下となったことが、赤字の要因である。

#### (3) 地域包括ケアシステムにおける地域密着型施設の役割

施設広報誌及び北ノ台まちづくりネットワーク(地区協議会)をとおして、神代の杜の機能を発信したことで、地域開放スペース(会議室)を使用する関係団体が増加した。なかでも、地域包括支援センターの介護教室、老人クラブの茶話会等で継続的に会議室を使用することで、近隣住民と関わる機会が増え

た。

また、神代の杜敷地内で北ノ台まちづくりネットワーク（地区協議会）の運営委員40人ほどで花見会を開催し地域コミュニティを活性する機会を設けた。

#### (4) 業務の効率化と標準化の推進について

日中の介護業務は各ユニット職員1人（ワン・オペレーション）で対応する時間が長く、ケア内容に齟齬をきたしやすいため、ケアカンファレンスを定期的で開催することが望ましい。しかし、慢性的な介護職員の欠員状況から定期的な開催することができなかった。

そのため、職員間のケア内容に齟齬をきたし、新規採用した介護職員への指導方法に差異が生じた。その都度、ユニットリーダーが職員の意見聴取を行い決定したが、対処的方法であったために、混乱することがあった。

次年度は、業務の標準化を目標として取り組んでいく。

## 2 実績報告

### (1) 特養（介護老人福祉施設。以下同じ）利用者食数

月	朝食	昼食	夕食	月	朝食	昼食	夕食
4	870	869	870	10	853	851	853
5	884	884	885	11	824	825	825
6	870	870	870	12	820	820	825
7	899	898	899	1	810	809	809
8	882	880	879	2	727	727	726
9	830	832	832	3	822	824	826
				計	10,091	10,089	10,099

### (2) ショート（短期入所生活介護。以下同じ）利用者食数

月	朝食	昼食	夕食	月	朝食	昼食	夕食
4	49	64	49	10	46	52	45
5	60	71	60	11	42	46	42
6	47	57	46	12	54	63	55
7	48	57	49	1	59	65	60
8	56	67	55	2	54	62	54
9	35	41	35	3	59	68	59
				計	609	713	609

### (3) 行事食献立一覧（特＝特養、シ＝ショート）

月日	行事名	課名	献立内容
4月4日	リクエストメニュー	特・シ	チャーハン、春巻、わかめスープ、杏仁豆腐
6日	リクエストメニュー	特・シ	山菜ご飯、魚の味噌漬焼き、さつま芋煮、他
27日	もりカフェ	特・シ	ショートケーキ、飲み物4種
5月5日	子どもの日	特・シ	いなり寿司、やわらかチキン、若竹煮、そうめん汁
25日	もりカフェ	特・シ	ショートケーキ、飲み物4種
6月2日	リクエストメニュー	特・シ	焼きうどん、大学芋、昆布茶和え、卵豆腐の澄まし汁
22日	もりカフェ	特・シ	ショートケーキ、飲み物4種
30日	おやつバイキング	特・シ	ケーキ、水ようかん、葛まんじゅう、他
7月7日	七夕	特・シ	七夕そうめん、天ぷら、卵豆腐、きらきらゼリー
20日	もりカフェ	特・シ	ショートケーキ、飲み物4種
30日	土用の丑	特・シ	うなぎちらし、がんもとぜんまいの煮物、他
8月13日	リクエストメニュー	特・シ	天ぷら、高野豆腐含め煮、切干し大根の辛子酢
24日	もりカフェ	特・シ	ショートケーキ、飲み物4種
9月18日	敬老祝い	特・シ	握り寿司、お浸し、澄まし汁、芋きんつば
26日	リクエストメニュー	特・シ	メンチカツ、ぜんまいの煮物、春雨酢の物

28日	もりカフェ	特・シ	ショートケーキ、飲み物4種
10月3日	リクエストメニュー	特・シ	栗ご飯、豆腐の五目あんかけ、蓮のきんぴら、他
26日	もりカフェ	特・シ	ショートケーキ、飲み物4種
27日	リクエストメニュー	特・シ	カキフライ、湯豆腐、ポテトサラダ
11月24日	もりカフェ	特・シ	ショートケーキ、飲み物4種
12月21日	もりカフェ	特・シ	ショートケーキ、飲み物4種
24日	クリスマスメニュー	特・シ	ピラフ、デミグラスハンバーグ、コンソメスープ、ゼリー
31日	年越し	特・シ	年越しそば、天ぷら、酢の物、みかん
1月1日	元旦	特・シ	赤飯、おせち料理、雑煮、ねりきり
7日	七草	特・シ	七草粥、京風しゅうまい、豆腐のくず煮、漬物
25日	もりカフェ	特・シ	ショートケーキ、飲み物4種
26日	リクエストメニュー	特・シ	鯛飯、玉子の中華蒸し、ホタテあんかけ、他
2月3日	節分	特・シ	散らし寿司、大豆とひじきの煮物、鯛つみれ汁、他
22日	もりカフェ	特・シ	ショートケーキ、飲み物4種
3月3日	ひな祭り	特・シ	桜寿司、鱈の菜種焼き、すまし汁、苺と白桃
22日	もりカフェ	特・シ	ショートケーキ、飲み物4種

#### (4) 研修体系

体系別の研修状況は、次のとおりである。

なお、内容欄の数字は、「(5) 研修の状況」の「No.」を表している。

体系		内容	回数
一般研修	新任職員研修		
	現任職員研修	2	1
	副主任研修	1	1
	主任研修		
	課長研修		
	施設長研修	3	1
専門研修	看護師研修		
	栄養士研修		
	介護職員研修	5、6	2
	機能訓練指導員研修		
	介護支援専門員研修	4	1
	生活相談員研修		
	事務職研修		

## (5) 研修の状況

施設外研修の参加状況は、次のとおりである。

No.	月 日	内 容	主 催	人数	延べ
1	7/21	ユニットケアフォローアップ研修	日本ユニットケア推進センター	1	1
2	8/19	東京防災救急協会講習会	公益法人東京防災救急協会	1	1
3	10/5	安全衛生労務管理講習会	三鷹労働基準監督署	1	1
4	1/13	調布市認定調査員現任研修	調布市福祉健康部高齢者支援室	1	1
5	2/27	東京都個別ケア研修	日本ユニットケア推進センター	1	1
6	3/7	ユニットケア研修フォーラム 2017	日本ユニットケア推進センター	1	1

研修参加人数合計 6 人、延べ参加人数合計 6 名

## (6) ボランティア等の状況

調布市社会福祉協議会広報誌にシーツ交換ボランティアを募集したところ、今年度から近隣在住の 4 人が活動に加わった。このことから、前年度と比較して延べ人数が 39 人増加した。

(単位:人)

活動団体・内容等		人数	延べ
全般・諸活動	歌・ピアノ弾き語り	2	14
	琴演奏	5	60
	フラダンス	10	20
	輪投げ	8	16
美化	草取り、樹木剪定、菜園	10	54
	シーツ交換	4	64
合 計		39	228

(7) 年齢状況（特別養護老人ホーム・定員29名）

入居者の平均年齢は、88.0歳であり、前年度と比較して0.3歳低下した。

平成29年3月31日現在（単位：人）

No.	年齢別	男	女	計	構成比(%)
1	65歳未満	0	0	0	0
2	65～70歳未満	0	0	0	0
3	70～75歳未満	1	0	1	3.5
4	75～80歳未満	1	1	2	7.2
5	80～85歳未満	1	5	6	21.4
6	85～90歳未満	1	8	9	32.2
7	90～95歳未満	0	4	4	14.3
8	95～100歳未満	0	3	3	10.7
9	100歳以上	0	3	3	10.7
合計		4	24	28	100.0
最高年齢（歳）		86	102	—	—
最低年齢（歳）		70	77	—	—
平均年齢（歳）		78.5	89.5	88.0	—

(8) 在籍期間（特別養護老人ホーム）

今年度の入居者は、5人となっている。また、13人が開設当初の入居者である。

平成29年3月31日現在（単位：人）

No.	期間	男	女	計	構成比(%)
1	1年未満	2	3	5	17.9
2	1年以上～2年未満	1	4	5	17.9
3	2年～3年未満	1	2	3	10.7
4	3年～4年未満	0	2	2	7.1
5	4年以上	0	13	13	46.4
合計		4	24	28	100.0

### (9) 退去状況内訳

本年度の退去者は、6人であり、その内容は下記のとおりである。

平成28年4月1日～平成29年3月31日

No.	性別	年齢	退去月	退所理由	在籍期間	要介護度
1	女	82	9月	入院先で死亡	5か月	4
2	女	98	10月	入院先で死亡	4年1か月	3
3	男	91	11月	長期入院加療	4年1か月	4
4	女	94	12月	入院先で死亡	4年3か月	2
5	女	92	1月	入院先で死亡	4年4か月	2
6	女	89	1月	入院先で死亡	1年8か月	4
平均		91.0	—	—	3年2か月	3.2

### (10) 月別要介護度分布表（特別養護老人ホーム）

前年度の平均介護度は3.7であったが、今年度は0.2ポイント上昇し、3.9となった。

(単位：人)

月	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	平均介護度
4	0	3	9	15	2	3.6
5	0	3	8	15	3	3.6
6	0	3	7	15	4	3.7
7	0	3	8	14	4	3.7
8	0	3	8	14	4	3.7
9	0	3	7	15	4	3.7
10	0	3	6	16	4	3.7
11	0	3	7	15	4	3.7
12	0	3	6	16	4	3.7
1	0	2	6	14	6	3.9
2	0	1	5	14	6	4.0
3	0	1	6	15	6	3.9
構成比 (%)	0	9.0	24.2	51.9	14.9	100

### (11) 月別利用実績（特別養護老人ホーム）

目標利用率の97.0%を達成できなかった。その原因は、新規入居の調整をしていた待機者4人から入居辞退の申し入れがあり、長期間に渡る空床期間ができたためである。

(単位：日)

月	延べ利用日数	延べ利用可能日数	利用率 (%)
4	870	870	100.0
5	885	899	98.4
6	870	870	100.0
7	899	899	100.0
8	882	899	98.1



月	延べ利用日数	延べ利用可能日数	利用率 (%)
9	832	870	95.6
10	855	899	95.1
11	823	870	94.6
12	827	899	92.0
1	779	899	90.1
2	727	812	89.5
3	862	899	91.9
合計	10,106	10,585	—
平均	842	882	95.4

(12) 短期入所生活介護（ショートステイ・定員3名） 月別利用実績

利用率については、前年度と比較して6.8ポイント低下した。低下した原因は、9月に2週間程度を利用する2人の利用者が終結となったことで利用率が低下した。

月	利用実人数 (人)	利用延人数 (人)	利用日数 (日)	稼働日数 (日)	毎月の利用率 (%)
4	11	16	64	90	71.1
5	10	15	74	93	79.6
6	9	14	60	90	66.7
7	10	14	61	93	65.6
8	11	14	68	93	73.1
9	8	9	44	90	48.9
10	7	8	53	93	57.0
11	9	10	52	90	57.8
12	8	11	65	93	69.9
1	7	9	67	93	72.0
2	7	9	62	84	73.8
3	10	11	69	93	74.2
合計	107	140	739	1,095	—
平均	8.9	11.7	61.6	91.3	67.5

(13) 短期入所生活介護（ショートステイ） 月別要介護度分布表

前年度までは、介護度4の利用者が最多であったが、今年度は、介護度2と3の利用者が同数で最多となった。

(単位：人) 空床ショート含む

月	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計
4	0	6	12	15	11	20	0	64
5	0	0	15	19	17	23	0	74
6	0	0	15	10	6	29	0	60
7	0	0	14	19	3	25	0	61
8	0	0	7	18	10	33	0	68
9	0	0	14	18	3	9	0	44
10	0	0	14	18	15	6	0	53
11	0	0	17	19	7	9	0	52

月	要支援 1	要支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合 計
12	0	0	14	25	23	3	0	65
1	0	0	16	21	26	4	0	67
2	0	0	19	9	34	0	0	62
3	0	0	20	5	41	3	0	69
合計	0	6	177	196	196	164	0	739
比率(%)	0	0.8	24.0	26.5	26.5	22.2	0	100

#### (14) 運営推進会議の開催について

ア 神代の杜は地域密着型サービスのため、厚生労働省令で運営推進会議の設置が義務付けられている。これは、地域との連携や施設の適切な運営を実現し、関係者からの要望、助言等を聞く機会を保障するため設置しているものである。

概ね2か月に1回の開催が求められ、平成28年度の開催状況は、下記のとおりである。

	開催日	議 題
第1回	4月28日(木)	・平成28年度神代の杜事業計画について ・3月～4月の運営状況について
第2回	6月23日(木)	・5月～6月の運営状況について
第3回	8月25日(木)	・7月～8月の運営状況について
第4回	10月27日(木)	・9月～10月の運営状況について
第5回	12月22日(木)	・11月～12月の運営状況について
第6回	2月23日(木)	・1月～2月の運営状況について

イ 運営推進会議の構成員については、下表のとおりである。(敬称省略)

氏 名	選任区分	任 期
矢田部 正丈	地域住民代表	平成28年9月1日～ 平成28年11月30日
矢田部 弘行	地域住民代表	平成28年12月1日～ 平成30年8月31日
赤羽 陽子	地域包括支援センター職員	平成28年9月1日～
内藤 敬子	地域有識者	平成30年8月31日

※ 矢田部正丈氏は、平成28年11月30日で調布市民生児童委員の任期満了にともない退任した。後任として、調布市民生児童委員協議会から矢田部弘行氏が推薦されたため、平成28年12月1日付で運営推進会議委員として委嘱した。

また、この他に入居者及び入居者家族各1人が構成員として加わっている。